

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	転移性尿路上皮癌における臨床的因子と予後に関する後ろ向き観察研究
	研究目的	2011年から2017年の間に転移性尿路上皮癌に対し当院で治療された患者さんを対象に、臨床経過・治療内容・検査データ・病理組織所見を集積し、検査データや病理組織が臨床経過・治療効果・治療副作用にどのように影響しているかを解析したいと考えています。統計学的に解析を行うことで、個々の患者さんに適した治療計画を選択できるようになることを目的としています。 全ての個人情報 は匿名化された上で使用されますので、プライバシーは厳重に保護されますが、本研究に参加されたくない患者さんはお手数ですが当院泌尿器科までご連絡ください。
	研究期間	西暦 2018 年 7 月 13 日 ~ 西暦 2019 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	泌尿器科 岸田 健
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	泌尿器科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	該当せず